



**H** 第115号 ふれあいの里  
〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者: 鉄村 信治  
編集: ふれあいの里広報委員会

<http://www.fureai-net.com/>

## CONTENTS

- 1頁・診療所(訪問診療・人工透析)オープン
- 2頁・ペルレントリオによるクラシックコンサート  
・斜向救助袋を使った避難訓練
- 3頁・理事長杯野球大会  
・大運動会開催
- 4頁・ライフエール、ひまわりⅡの引っ越し  
・第27回 ふれあい祭り開催!



## ひまわりクリニック 開設のご案内

医療法人健和会 理事長 鉄村 信治

この度、訪問診療を目的とした在宅支援診療所“ひまわりクリニック”を7月1日付で開設する事となりましたのでご案内させて頂きます。

今までふれあいの里内の施設入所者様が奈良東病院外来を受診される時、ご自分で行ける方以外はスタッフが付き添い、送迎する体制をとっておりましたが、入所者様の身体機能の重症化に伴い、スタッフの負担が大変大きくなっています。また、国の施策としても、在宅(有料老人ホームやケアハウス含む)医療の推進、すなわち自力での外来通院に支障を来たした場合には、かかりつけ医による訪問診療を定期的に受ける事が広がってきております。

在宅療養支援診療所とは、高齢者が出来る限り住み慣れた地域で療養しながら生活を送れるように在宅医療(訪問診療)を行う診療所です。期日を事前告知したうえで、患者様の自宅に医師が定期的に訪問させて頂きます。

緊急時の連絡体制および24時間往診できる体制を確保しておりますが、当クリニックは後方支援病院と密に連携しているため、夜間や休日など病状により早急な対応をする場合や入院を要すると考えられる場合には、直接後方支援病院(奈良東病院など)へ受診できる体制も整っております。

その他、病状が安定している場合に定期受診のために外来受診を行う必要がなく、また医師による診察回数が増える(原則的には月2回の頻度)ため、より病状を把握しやすいといったメリットがあります。今回、この診療所が出来る事により、今まで以上に入所者様の健康管理がしやすくなる上、天候の悪い日の定期受診など身体へのご負担やスタッフの労



透析室

務の軽減につながると期待しております。

もう一つ、この診療所の大重要な役割として人工透析機能があります。

人工透析とは、腎臓が十分にその機能を果たさなくなつた時に、その機能を人工的に代用させる治療法です。

今回我々が新たに透析機能を整備した背景には、現在わが国では高齢化に伴い透析を必要とし、なおかつ介護を必要とする高齢者が増加の一途をたどっているにも関わらず、受け入れる介護施設が殆どないといった事実があります。このため、何とかこのふれあいの里で透析を受けながら安心して介護施設で生活できるよう、小規模ではありますが透析を開始する事となりました。

なにぶん新しい取り組みであり、安定するまでは少し時間がかかるかもしれません、これらの新しい取り組みは必ずこれからの中高齢者医療・介護にお役に立てると考えております。

以上の事を何卒ご理解頂き、今後ともよろしくお願ひ致します。

### 健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

### 健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

## 桜花舞う中、クラシックコンサート開演



ベルリントリオ フェイスブックより

4月15日、満開の桜の花びらが舞い始めた清寿苑。ベルリントリオという女性3人組をお招きしてクラシックコンサートを開催しました。ベルリントリオ(チェロ/石田聖子さん、ヴァイオリン/宮田英恵さん、ピアノ/宮本聖子さん)は、ドイツ・ベルリンへの留学で研鑽を積んだ3人が大阪で出会い、2014年1月に結成した女性トリオ。石田さんはベルリン・ハンスアイスラー音楽大学、宮田さんと宮本さんはベルリン芸術大学で学ばれた後、さまざまな交響楽団に所属されています。それほどの奏者にお越しいただけたのは、朝日新聞社厚生文化事業団の企画に応募し当選したという経緯からです。当日は、苑内各階の入居者・利用者様をはじめ、ご家族様にも参加いただいての一大イベントとなりました。

司会の紹介で、3人の素晴らしい経験を聞き、緊張で張りつめた雰囲気の中、艶やかな衣装をまとった3奏者が登場。このよ

うな小さな会場で身近に聴けるのかと思うといやが上にも期待は高まります。

プロlogueでは、この時季らしくヴィヴァルディの「四季」より『春』が演奏されるやいなや、生演奏の迫力、しなやかな音色によって、会場がコンサートホールへと一変。まさに春の小川のせせらぎ、小鳥のさえずりが聞こえてくるかのような華やかな協奏曲が奏されました。その後、それぞれの楽器を手にして、音の違いやその特徴などをわかりやすく説明してくださいました。また、昔懐かしいCMソングなどの親しみやすい曲の他、『七つの子』『故郷』などの童謡・唱歌が演奏されると、曲に合わせて口ずさむ利用者様の姿も見受けられました。演奏すること約1時間。最後にこちらから事前にリクエストしていた『花は咲く』を演奏していただき、心癒される空間が幕を閉じました。コンサート終了後、入居者様の代表から演奏者それぞれに記念品を贈呈したあと、奏者と参加者全員で記念撮影を行いました。

強風のため満開の桜が花吹雪となっていたこの日、演奏会の時間だけ花びらが音符(♪)となって清寿苑の周りを舞っていたかのような、そんな素敵ひとつときでした。

(デイサービスセンター 清寿苑 檜垣 英樹)

## 斜降式救助袋を使用した避難訓練の実施 ~ふれあいの里災害対策委員会~



5月12日(金)災害対策委員会にて、斜降式救助袋を使用した避難訓練を実施しました。斜降式救助袋とは、上階の窓などからおおむね45度の角度で張り渡された袋状の滑り台を使って避難するための器具です。病院、幼稚園、小学校などに多く採用され、避難効率の良い器具で、当院には4階病棟に設置されています。

今回は主に、降下訓練未体験の職員が参加しました。救助袋の設置準備からスタートし、その流れと使用方法について再確認を行います。4階での設置は全て病棟スタッフが対応することで実態に即した訓練状況を作りました。まずは目標設定のための砂袋を4階から地上へ。それを病院玄関前の駐車場へと固定し、救助袋を設置。

受け止め布を2人で支えて完成となります。4階から降りる救助袋は想像以上の高低差と傾斜がありました。実際に滑つ

てみると、白い袋の壁で風景が遮断されているため恐怖感はありませんでした。腰を上げた万歳の状態で、足をまっすぐにし、腰で滑っていくイメージで降下。すると自然とスピードが落ち、ゆっくりと安全に地上へと降りることができました。



注意点としては、下記のことが挙げられます。

腕や足を急に広げたり突っ張ったりすると、急ブレーキがかかり、すり傷などを受ける怖れがあるのでしないこと。

出口では、両足が地面に着くまで絶対に立ち上がらないこと。

そして、準備完了時・降下時、など全てにおいて確認の声掛けを行うことです。声掛けを行うことで避難時のトラブルや事故を防ぐことができます。実際、訓練では全ての行動に逐一確認の声掛けを怠ることなく進めてきました。

今回訓練に参加することで、災害が発生した際、患者様の安全を守り、そして自らの命を守る上で必要となる正しい器具の使用法を学ぶことができました。一度でも体験しておけば、いざというときの不安は軽減されます。また、体験したことを実際に行なうことがないよう、職員一人ひとりの防災意識を高める貴重な機会になりました。

(奈良東病院 栄養科 上田 祐希)



## みんなで汗を流した 理事長杯野球大会!



晴天の春空のもと、5月28日日曜日、白川グラウンドにて春季理事長杯野球大会が開催されました。川瀬副理事長による開会宣言と豪快なスイングによる始球式で試合が始まりました。今大会の参加チームは、毎回参加している「奈良東病院チーム」「ならふくじゅ荘チーム」「清寿苑チーム」「ライフエールチーム」と、今回から復帰した「リハビリチーム」の5チーム。この5チームによって優勝を争いました。優勝チームには、トロフィーが授与され、個人賞には、ホームラン賞があります。

「リハビリチーム」は、女性スタッフが中心となって参加者を募りました。私は、少年野球時代の経験を活かして、少しでも活躍して楽しもうと思い試合に臨みました。いざ試合が始まると、みなさん勝敗にかかわらず声を上げ楽しんでいました。観戦に来ていたお子さんたちも、グラウンドでプレーするお父さんの元へ駆け寄ってくるなど、和気あいあいとした雰囲気に包まれました。初心者や女性は、打てるまで下手投げで打たしてもらったり、全員が活躍できるように特別ルールがありました。特別ルールのおかげで、女性もヒットが打つことができ、我々「リハビリチーム」は、優勝候補の「奈良東病院チーム」に勝利する



ことができました。楽しい時間が過ぎるのは早く、気がつけば午後5時を過ぎており、みなさん顔が日焼けで真っ赤になっていました。激戦を終え、今回の優勝は「ならふくじゅ荘チーム」でした。なんと、このチームからホームラン賞も飛び出しました。

今回の野球大会を通じて、普段ほとんど関わることができない、他施設のスタッフと楽しみながら交流できたことが、非常に有益でした。もし、参加を望む方は、施設単位でなくても個人でも参加可能です。是非、秋の大会には参加してください。

今回の野球大会を通じてこれからもスタッフがチーム一丸となり、患者様、利用者様のために対応できたらと思います。

(奈良東病院 リハビリテーション科 林 智保)



## 大盛り上がり! 大運動会開催

「宣誓!」 右手を高く挙げ、赤組、白組の代表選手の堂々たる声が響きます。

「明るく、楽しく、怪我をせず」をモットーに恒例の選手宣誓でエバーライフ「大」運動会が開催されました。

今年も、うちわでボールを運ぶ「うちわリレー」や、これぞ運動会の定番「玉入れ」を思う存分に楽しみました。毎年、競争心に火のついた入居者様が張り切り過ぎて怪我をしないようにするのが職員の最大の課題となっています。

そんな中、今年一番盛り上がったのが「パターボウリング」と名付けた競技でした。

パターゴルフのクラブとボールで、ペットボトルのピン10本を何本倒せるかを競います。一人ひとりの点数がチーム得点になるので、皆さんやる気満々です。赤・白互角の勝負を繰り広げる中、「私は、見にきただけだから…」と観戦していたエバーライフ最高齢101歳のIさんも、じつとしていられなくなり、パターボウリングに参戦してくださいました。



Iさんの力強いボールが放たれると、その貴重ある勇姿に憧れと応援の拍手が湧き起こり、運動会の盛り上がりはピークに達しました。

短い時間ですが入居者の皆さんが一堂に会し、和気あいあいと過ごすことで体力も気力も充実する、有意義なエバーライフ5月の行事でした。

(エバーライフ 梁 美恵)

## 引っ越しました!

本号1ページ目には、「ひまわりクリニック」ができることによって、「訪問看護ステーションひまわりII」、「ライフエール天理店」が引っ越しました。

中之庄町にあった「ライフエール天理店」は別所町の「ライフエール天理II」と同じ事務所へ引っ越しし、合併して「ライフエール天理店」となり、利用者様の登録数が160名を超える大所帯の事業所になりました。

別所町にあった「訪問看護ステーションひまわりII」は、より天理市の中心に近いところで三島町へ引っ越ししま



した。「訪問看護ステーションひまわりII」も「ライフエール天理店」もこの引っ越しを機に気持ちも新たに、利用者様によりよいサービスを提供できるよう、いっそう頑張ります。

(広報委員会)

**訪問看護ステーションひまわりII** ————— 〒632-0015 天理市三島町125-1 TEL0743-62-3334 FAX0743-62-3335  
**ライフエール天理店** ————— 〒632-0018 天理市別所町241-4 TEL0743-86-4771 FAX0743-68-1633

奈良東病院グループ  
NARA HIGASHI HOSPITAL GROUP

第27回

地域の皆様と共に歩む

ふれあい祭り

お楽しみ  
抽選会

今年も当選本数なんと  
約100本!

抽選会受付 13:30~16:15

2017 8.26(土) 13:30~20:00頃

※雨天決行(盆踊り等屋外行事のみ中止)

当日は暑さが予想されますので、帽子やこまめな水分補給など、熱中症対策のご準備をお願いします。



ことしもやります!!

恒例となりました奈良東病院グループの「ふれあい祭り」。

昨年から子どもさんにより楽しんでいただこうと、子どもさんが楽しめる模擬店を一角に集めました。昨年は射的、あてもの、スパークルボールすくい、ヨーヨー釣りにかき氷!ステージショーはナライガー!今年も同規模、もしくはそれ以上にして

子どもさんにめいっぱい楽しんでもらおうと準備いたしております。もちろん大人の方も楽しめる模擬店や催し物も盛りだくさん。

暑い暑い夏の一日、みなさん一緒に大いに楽しみましょう!

(第27回 ふれあい祭り実行委員会一同)

お問い合わせ



奈良東病院グループ  
NARA HIGASHI HOSPITAL GROUP

総合相談窓口 TEL.0743-65-5141 天理市中之庄町392-1

### 編集後記

6月7日に梅雨入りが発表された近畿地方ですが、例年に比べて雨の日が少なく感じられます。梅雨というイメージがありますが、今年は梅雨入り後の雨が少ないため、例年ほど蒸し暑さは感じないのではないかでしょうか。夜は肌寒くさえ感じることもあります。

梅雨らしい梅雨とはいえ、暑くなっていますと気をつけなければならないことの一つに食品のカビがあります。冬場は常温保存でよかったものが、この時期は温度と湿度が高くなりカビが繁殖しやすくなります。食中毒が起こりやす

い季節になりますので、食品を保存する時は十分注意してください。

話は変わりますが、本格的な夏を迎えるにあたり、今年も「ふれあい祭り」の季節となりました。今年は8月26日に開催いたします。例年通り、猛暑が予想されますが、職員一同皆様のご来場を心よりお待ちしておりますので、皆様お誘い合わせの上、お越しいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

(広報委員長 橋本 重之)

